

教室ニュース

三井，嘉都夫

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理

(巻 / Volume)

10

(開始ページ / Start Page)

80

(終了ページ / End Page)

81

(発行年 / Year)

1969-03-31

なか味があります。

(アイウエオ順敬称略)

筆者曰く、毒舌をたたこうと思うけれど、ナニの方が気になりシヨボクレ文章。先生に対する失礼な文章、平にお許し下され。

(D記)

教 室 ニ ュ ー ス

三 井 嘉都夫

会員の皆様お元気ですか、今年度も卒業時期を迎え、教室でも何かとせわしい毎日をおくっております。昨年9月には大学内の騒動によつて地理学科の教室がいためられたりして皆様には御心配おかけいたしました。しかし、その後教室の修理、機械器具等の補修も一応片付きまして、後期授業、学年末試験、卒論審査も終了させ、今や入学試験も何とか順調に進んでおります。それにつきましても昨今の大学問題に関連し、皆様も御心労のことと存じます。

さて一方大学受験の方は新聞、ラジオでも発表されていますよう押すな押すな盛況で、私達の地理学科でも、3月5日の試験に対しまして2月25日現在1016人の応募者があります。これは前年に比べ約倍の応募であり、締切日には多分12～13人に1人の割合となりましょう。ところで本年度の卒業見込者は昼間部77人通教(28人)で、昼間部に地理学科が新設され、1965年3月第1回生を送り出してから本年で5回目、昼間部だけでも約420名の地理学士ができることとなります。二部時代最後の卒業生が三九(サンキウ)会をつくつた昭和39年(1964)が新制第14回に相当しますから、法政地理学会としては旧制も含め今回の卒業生で20回目の卒業生を送り出すこととなります。

幸い本年の卒業見込者の就職状況は、いたつて好調で一般会社、建設、出版、土木、教員等各方面に進出の萌しを示しております。

教室に届いた会員の活動状況も個々について十分紹介したいと思いますが紙数の関係で今

回は割愛させていただきます。

教室のスタッフは前年度にお知らせいたしました通りで余り大きな変化はございません。ただ昨年4月末から5月初旬にかけ、外遊中の鴨沢教授、吉野助教授（本年1月の教授会で教授昇格承認）が帰国され、教室は急に賑やかになりました。なお、田淵助手の任期満了にともない後任者として法政大学修士課程修了、博士課程在学中の上田茂春氏を迎えました。

ところで今回は教室スタッフの学校内の役目について一寸紹介いたしましょう。ただ本日、3月2日（日）の時点では内定的なものを含みますが許される範囲で申し上げます。地理学科の教室主任は4月から大貫俊教授にお願いすることになりました。通信教育学務委員には市瀬助教授、学生会館委員には前年度に引きつづき渡辺一夫教授、学生厚生補導委員には吉野教授が選ばれております。鴨沢、三井教授も学内のことで任務を分担いたします。漆原、上田助手は教室内の事務、学生との諸関係を分担していただくことになっております。それぞれ研究上の成果もあげなければならない中の仕事でありますので忙殺の一年が予想されます。小川教授は4月から一年間の国内留学が許され、研究に専念されることになりました。

会員の皆様どうか研究の成果、一身上の変化、職務上の内容等について教室の方へお知らせ下さい。何れ紹介させていただきます。